

## 実験の目的

## 実験における注意事項

## 実験結果の予想

各水溶液の中にキャップ・ラベル・本体を入れるとどうなるか予想し、浮く「○」、沈む「×」の記号で書きましょう。

	水 (20度のときの密度 = 1.0)	飽和食塩水 (20度のときの密度 = 1.2)	50%エタノール水溶液 (20度のときの密度 = 0.8)
キャップ			
ラベル			
本体			

密度の単位は (g/cm<sup>3</sup>)



**考え方のポイント** しずめる物質の密度 > 水溶液の密度 になると物質がしずみます。

## 実験結果

各水溶液の中にキャップ・ラベル・本体を入れたときの結果を、浮いた「○」、沈んだ「×」の記号で書きましょう。

	水 (20度のときの密度 = 1.0)	飽和食塩水 (20度のときの密度 = 1.2)	50%エタノール水溶液 (20度のときの密度 = 0.8)
キャップ			
ラベル			
本体			

密度の単位は (g/cm<sup>3</sup>)

## メモ 5種類のプラスチックの浮き沈みを○×で記入しましょう。

名称	略号	水 (20度のときの密度 = 1.0)	飽和食塩水 (20度のときの密度 = 1.2)	50%エタノール水溶液 (20度のときの密度 = 0.8)
ポリエチレン	PE			
ポリプロピレン	PP			
ポリ塩化ビニル	PVC			
ポリスチレン	PS			
ポリエチレンテレフタレート	PET			

密度の単位は (g/cm<sup>3</sup>)

**考察** 実験の結果からキャップ・ラベル・本体がプラスチックのどの種類が書きましょう。候補が複数ある場合は複数記入してください。

	プラスチックの種類
キャップ	
ラベル	
本体	

## まとめ 気付いた点や印象に残ったことを書きましょう。